

岐阜県教育委員会

教育モニター 様

初秋の候、モニター様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、本県教育の充実に御理解と御協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、この度は、「小中一貫の新しい教育について」と題して、貴重なご意見をお寄せいただき、本当にありがとうございました。モニター様には、訪問された中学校において、入学後の1年生が落ち着いた生活を送っている様子をご覧になられたとのこと。その背景には、中学校入学前までに当該校の教職員が校区の小学校に出向いて中学校生活のガイダンスをされるなど、入学後の目標や見通しをもたせる中で、進学に対する不安や悩みを解消しようと努力されたことをご理解いただけたと伺いました。

ご承知のとおり、小中一貫教育は、小・中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指すものと規定されており、現在、本県では、白川村立白川小・中学校を含む五つの中学校区で取り組まれています。

県教育委員会としましては、小中一貫による教育指導の充実については、いわゆる中1ギャップの緩和に寄与するなど、効果が認められるものと考えております。そのため、第2次岐阜県教育ビジョンの重点施策の一つに「学力向上を核とした小・中学校教育の改善」を掲げ、例えば、小学校からの教科専門性向上による施策等を推進しております。その中では、中学校区内で相互に連携し、授業研究会や教材作成等を共同で行うなど、9年間を通じた教育指導を大切にさせていただきよう、設置者である市町村教育委員会を通じて働きかけております。引き続き、こうした小・中学校の連携による教育活動の推進について支援してまいりたいと考えております。

末筆ではございますが、モニター様におかれましては、くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます、今後とも本県の学校教育の更なる充実に向けてご指導賜りますようお願いいたします。

平成26年9月25日

岐阜県教育委員会

学校支援課長 吉田 梓